

5・28
三里塚

決意も固く

89年決戦を宣言

不屈にたたかう 反対同盟を守れ

芝山全域を長蛇のデモで激励

五・二八三里塚現地集会は、騒音直下、菱田の地において、全国の闘う住民団体、被差別民衆、市民、学生、そして「連合」に抗して闘う潮流を形成しようと奮闘している労働者、約七〇〇〇名が結集し、闘う新たな決意をうち固めた。

この五・二八は、三里塚闘争の前進にとって大事な集会であったのみならず、リクルート・消費税弾劾、竹下自民党政権打倒の八九年決戦の大きな前進にむけての決定的環としても重大な闘争として勝利的にうちぬかれた。

デモは、芝山町全域をねり歩く長蛇のデモとなり、青々と繁る田んぼ、きれいに刈りとられたあぜ道を赤や青の旗がひらめくなど、行進は長かつたが、すがすがしい闘争となった。

過去十年、二十年経て、そして今後も永々と闘いが続く、その中に勝利性をつかみとることができた。今後も労農連帯をより一層うち固めることを各々が決意し終了した。

一三年間の闘いの地平に立つて！
— 北原事務局長が基調提起 —
二四年間の闘いこそ、反対同盟の原則をかけた闘いであり話し合い拒否—実力闘争の道にしか勝利がなく、これこそ不滅の道である。
本日結集した人民こそ、反戦・反核を闘える勢力であるということをはっきり確認できる。

県収用委任命問題は断じて許さない。土地の収用を採決する場を再度再開し、農民の土地を奪うなどという暴挙をどうして許せようか、裁判闘争も含めあくまで闘っていく。
と力強く決意され、全参加者が拍手で方針を確認した。



動労千葉を代表し、水野副委員長が決意を表明した。

みんなでおし上げクサビをうちこまなければならぬ。

三里塚現地は決戦段階にある。収用委再任命—強制代執行粉砕にむけてわれわれも闘い抜く。情勢闘う住民と結合する労働運動を

国鉄戦線は、今春闘一・二波のストを貫徹した。しかし、

はリクルート・消費税によって竹下・自

— 水野副委員長が決意表明 —

民党は揺れ動いている。しかし、野党の無力化の中で保守体制は延命せんとして

「連合」春闘は自らの要求すら降ろし惨敗した。動労千葉は権力・機動隊の弾圧をうち破り十三日幕

張、十七日新小岩・佐倉において二波のストライキを貫徹した。
われわれは、二・二六全国交流センター発足、五月学習会の開催—成功を突破口に、闘う住民団体と結合する労働運動を確立させなければならぬ。動労千葉はそのために先頭で闘う。